No.57　事業名　出石城公園整備	29 年度 予算額	18,000　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

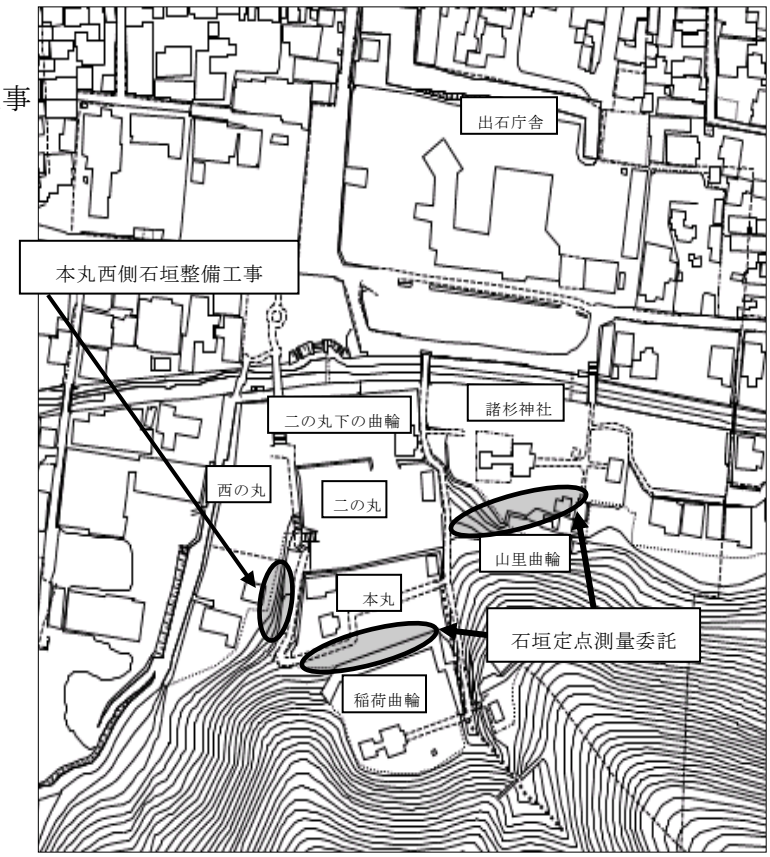
出石城公園は、石垣の変形等が生じており、その対策を講じることによって、文化財保護や観光客の安全性を確保し、観光スポットとして活用を図る。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

出石城公園石垣の状態を調査した上で整備を行い、適切な文化財保護と観光客の安全性を確保する。

平成25年度　　測量調査
平成26年度　　詳細設計、測量
平成27年度～平成31年度　整備工事



⑵　事業期間

平成 25 年度～平成 31 年度

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費（補助率・負担率等）

220,664 千円

3　29 年度予算

⑴　予算額

18,000 千円

⑵　事業内容

本丸西側石垣整備工事
石垣定点測量業務

4　その他参考事項

本丸西側石垣について、間詰石補充による石垣の補強工事を行う。

平成 28 年度に引き続いて稲荷曲輪石垣の動きのデータを取るため、定点測量を行い出石城跡石垣整備検討委員会で整備方針を検討する。

また、石垣整備が完了した山里曲輪石垣について、石垣の動きを注視するため、定点測量を行う。

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

施策体系番号　3-2-6-1

No.58　事業名　稲葉川土地区画整理	29 年度 予算額	151,012　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

土地区画整理事業の施行により、河川改修事業にむけた河川用地の確保を早急に行うとともに、公共施設の整備改善並びに宅地の利用増進を図り、安全で安心な市街地を形成する。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

①　事業区域　豊岡市日高町岩中及び浅倉の一部

②　地区面積　約 27.9ha

③　区域内関連工事

国土交通省施行：円山川Ｌ＝1,150m、稲葉川Ｌ＝900m、樋門 2 箇所

兵庫県施行　　：稲葉川Ｌ＝　150m、橋梁架替 1 箇所

⑵　事業期間

平成 19 年度～平成 33 年度（予定）

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費（補助率・負担率等）

2,648,000 千円（国・県公共施設管理者負担金あり）

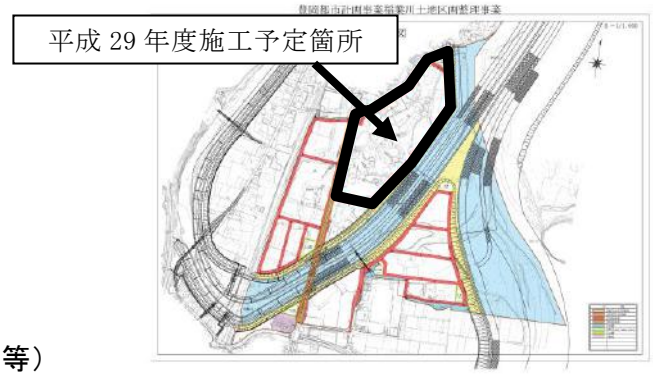
3　29 年度予算

⑴　予算額

151,012 千円

⑵　事業内容

造成工事、確定測量業務等



4　その他参考事項（事業内容の詳細等）

当地区は、平成 16 年の台風 23 号による一級河川稲葉川の氾濫により甚大な被害を受け、災害復旧のため河川改修事業が実施されている。

しかし、当地区は度重なる河川の氾濫により「公図混乱地域」であること、日高地域の中心市街地に隣接し将来の市街化が見込まれること、河川計画は現河川と別の位置であること、河川改修事業の期間は限られていることなどから、土地区画整理事業を実施するもの。

担当課名【都市整備課】（内線 5471）

施策体系番号　3-2-2-2

No.59　事業名	市営住宅の改善 （鳥居・草飼テラス）	29年度 予算額	66,000　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

建物の長期的な活用を図るため、平成23年度に策定した市営住宅長寿命化計画に沿って住宅の改善工事を実施し、耐久性の向上や躯体への影響の低減の観点から予防保全的な改善を行う。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

・予防保全的な維持管理、耐久性の向上等を図る改善を実施することによって、市営住宅の長寿命化を図る。

・効率的かつ効果的な修繕等を行い、安全性・快適性を向上させるとともに耐久性の向上を図る。

・市営住宅の長寿命化及び耐久性の向上により修繕周期の延長等を図ることによってライフサイクルコストの縮減を図る。

⑵　事業期間

平成24年度～平成33年度

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費（補助率・負担率等）

782,132千円

3　29年度予算

予算額

①鳥居住宅　　34,000千円
　外壁・屋根改修

②草飼テラス住宅　　32,000千円
　外壁・屋根改修

担当課名【建築住宅課】（内線2461 ）

施策体系番号 3-2-2-1

No.60　事業名　住宅の耐震改修促進	29年度予算額	25,436　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

耐震性がないとされる昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、まず、住宅を所有される方に簡易耐震診断を受けることで住宅の耐震性を知っていただく。耐震性なしと診断された場合には、耐震改修工事費の補助及び耐震改修工事と同時に行うリフォーム工事費用の補助により､所有者が住宅耐震改修工事に取り組むことを支援する。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

①　簡易耐震診断の個人負担を無料

②　一階居室等補強型の市単独の補助制度

住宅が倒壊しても生存空間を確保するため一階居間又は寝室の壁を補強するための計画策定及び改修工事に対する、市独自の補助制度

計画策定・改修工事に対し、1/2以内（戸建の場合で最大40万円）

③　ひょうご住まいの耐震化促進事業による補助制度

住宅耐震改修計画策定に対し、2/3以内（戸建住宅で最大20万円）

改修工事に対し、定額補助（戸建の場合で最大100万円）など

改修工事に対し補助金を加算（上乗せ補助分）、1/4以内（最大30万円）

④　耐震リフォーム補助制度

②又は③の補助対象となる耐震改修工事と同時に行うリフォーム工事部分に対する補助制度

リフォーム工事に対し、1/3以内（最大30万円）

⑤　防災ベッド等設置補助

防災ベッド等の設置費用に対し、定額補助（10万円）

⑵　事業期間

平成22年度～

⑶　事業主体

昭和56年5月31日以前に着工された市内の住宅の所有者

3　29年度予算

予算額

⑴	簡易耐震診断の実施	3,708千円
⑵	一階居室等補強型の市単独の補助制度	7,599千円
⑶	ひょうご住まいの耐震化促進事業による補助制度	6,100千円
⑷	耐震リフォーム補助制度	7,500千円
⑸	防災ベッド等設置助成	200千円
⑹	事務経費	329千円

4　その他参考事項

平成28年度実績（見込み）

⑴　簡易耐震診断実施戸数(無料)　122戸

⑵　耐震改修工事実施戸数　24戸

担当課名【建築住宅課】（内線2461）

施策体系番号 1-1-1-2　3-2-2-1

No.61　事業名	要緊急安全確認大規模建築物耐震化助成	29年度予算額	463,600　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

耐震改修促進法の改正により、耐震診断及びその結果の公表が義務付けられた大規模建築物の耐震診断、耐震補強設計及び耐震改修工事に要する費用の一部について補助を行う。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

①対象建築物

昭和56年5月31日以前の建築物で3階建て以上かつ延床面積5,000㎡以上の病院、店舗、旅館等

②耐震補強設計費補助

耐震補強設計費の一部を補助　補助率2/3（財源内訳　国1/3、県1/6、市1/6）

③耐震改修工事費補助

耐震改修工事費の一部を補助　補助率2/3（財源内訳　国1/3、県1/6、市1/6）

⑵　事業期間

平成26年度～

⑶　事業主体

対象大規模建築物の所有者

3　29年度予算

予算額

補助金

要緊急安全確認大規模建築物耐震化助成事業費　463,600千円

内訳

耐震補強設計　2件　14,420千円

耐震改修工事　1件　449,180千円

担当課名【建築住宅課】（内線2461）

施策体系番号　1-1-1-2

№62　事業名　老朽危険空家対策	29 年度 予算額	9,934　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

適切な管理が行われていない老朽危険空家の倒壊、飛散等を防止し、市民等の生命身体及び財産の保護を図るため、平成 27 年に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、必要な措置を講じ、安全で安心なまちづくりの推進と良好な生活環境の保全に寄与することを目的とする。

2　全体の事業内容

⑴　内容

①　空家等対策計画の策定
②　空家等対策協議会の設置運営
③　老朽危険空家の除却費用の一部を補助する制度の構築
　補助率 2/3 以内（財源内訳　国 1/3、県 1/6、市 1/6）

⑵　事業期間

平成 29 年度～

⑶　事業主体

①、②　豊岡市
③　民間住宅のうち倒壊等により前面道路や近隣の住宅など周辺に危険が及ぶおそれがあり、法に基づき、市が助言又は指導等を行っている空家の所有者等

3　29 年度予算

予算額　9,934 千円

⑴　空家等対策計画の策定　　8,000 千円
⑵　空家等対策協議会の設置運営　　600 千円
⑶　老朽危険空家除却支援事業補助金　　1,334 千円

担当課名【建築住宅課】（内線 2461）

施策体系番号　3-2-2-1

No.63　事業名　城崎振興局の取組み	29年度予算額	8,970　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

城崎地域では、インバウンド効果で年間を通じて安定した宿泊者数が見込めるようになりつつあるが、従業員不足が一層深刻となっている。

このため、城崎温泉夢花火事業等閑散期の観光客増加対策の取組みを支援するとともに､城崎怪談とインターンシップにより都市部の若者を関係人口※ として取り込む仕組みづくりを構築し、更に、朝市事業により地域の魅力を再発見することで地域への愛着を醸成し、正規で働く若者を増やすことを目指す。

※　関係人口：城崎との関わりを持つ人

2　29年度予算

(1)　**予算額**　8,970千円

(2)　**事業内容**

①　城崎振興局プロジェクト事業

ア　城崎温泉夢花火事業（継続）

事業内容：夏期（夏休み期間中の平日）の観光客増加を目的とした事業。
事 業 費：12,000千円（市補助金　6,000千円）
事業主体：城崎温泉観光協会

イ　コウノトリチャレンジライド事業（継続）

事業内容：9月上旬に全市域及び香美町を回る自転車イベントを実施。
本年度は全国大会も同時開催。
事 業 費：9,258千円（市補助金　400千円）
事業主体：山陰海岸ジオパークコウノトリチャレンジライド in 但馬実行委員会
（但馬県民局、豊岡市、豊岡市区長連合会などで構成）

ウ　城崎怪談（新規）【地方創生事業再掲：A0205】

事業内容：城崎温泉街を散策しながら町並みと怪談を楽しむテーマパーク型イベントと旅館で就業体験をする大学生のインターンシップを組み合わせることで、大学生の就職先として城崎地域をアピールし、就職・定住につなげる。
事 業 費：4,141千円（市負担金　2,070千円）
事業主体：城崎怪談実行委員会

エ　駅通り公園朝市事業（新規）

事業内容：城崎地域で収穫された農産物等を城崎温泉街で販売。
事 業 費：1,000千円（市補助金　500千円）
事業主体：KAKEHASHI（内川地域の有志で構成）

担当課名【城崎振興局　地域振興課】（内線5002）

施策体系番号　6-1-1-2

No.64　事業名　さとの湯エネルギー転換	29 年度 予算額	64,000　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

城崎温泉駅前にある城崎温泉交流センター(さとの湯)は､完成から 16 年が経過して、一部設備が老朽化している。灯油ボイラーの改修計画に伴い、施設全体のエネルギー消費を検討し、コストの低減ができる効率的なエネルギーへの転換を図る。

また、温室効果ガスである二酸化炭素の排出削減に寄与するエネルギーシステムの導入を図る。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

・さとの湯エネルギー転換に関する検討書作成
・検討に基づいた工事の実施設計
・設備改修工事

⑵　事業期間

平成 28 年度～平成 29 年度

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費

・65,309 千円
実施設計委託費：1,309 千円（28 年度）
改修工事費：62,000 千円（29 年度）
工事監理委託費：2,000 千円（29 年度）

3　29 年度予算

⑴　予算額

64,000 千円

⑵　事業内容

・既存の灯油ボイラー2 基を、高効率のガスボイラー（2 基）に切替える。
・都市ガスで発電するガスコージェネレーション（25KW、2 基）を設置する。

3　参考事項

コージェネレーション：排熱を利用して総合エネルギー効率を高める新しいエネルギー供給システム

担当課名【城崎振興局　地域振興課】（内線 5001 ）

施策体系番号　6-1-1-2

No.65　事業名　竹野振興局の取組み	29年度予算額	12,354　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

竹野振興局では、「竹野の海、山、川と共生して暮らす若者が増えている。」を戦略目的とした、仕事づくり、地域の魅力づくり、情報発信など、地域の特色を活かした事業を推進し、人口減少の緩和と地域振興を図る。

2　29年度予算

⑴　予算額　12,354千円

⑵　事業内容

①　竹野振興局プロジェクト事業

ア　竹野地域第一次産業就労支援モデル事業
事業内容：農業の新規就労者（兼業農家）の育成支援
事 業 費：720千円
事業主体：竹野の農業を守る会

イ　地域情報発信事業
事業内容：マスコミ等への情報提供や情報発信に対する支援
事 業 費：800千円
事業主体：たけの観光協会、株式会社北前館

ウ　まちなみ景観調査事業
事業内容：焼き杉板の町並みの文化的景観調査、焼き杉板フィールドワークの実施
事 業 費：2,706千円
事業主体：豊岡市

エ　空き家調査事業
事業内容：竹野地域の空き家の家屋調査及び所有者の意向調査に対する支援
事 業 費：1,950千円
事業主体：特定非営利活動法人たけのかぞく

オ　三原谷の川の風まつり事業
事業内容：芸術家や映像作家、音楽家によるイベントへの支援
事 業 費：1,050千円
事業主体：三原谷の川の風まつり実行委員会

②　竹野北前館管理

事業内容：温泉機器（給水ポンプ、ろ過器）及びサウナ室の修繕、レストラン天井の漏水箇所修理等
事 業 費：5,128千円
事業主体：豊岡市

担当課名【竹野振興局　地域振興課】（内線5212）

施策体系番号　3-1-2-2、3-1-2-3、6-1-1-3

No.66　事業名	竹野観光トイレ管理 （焼き杉板による改修）	29 年度 予算額	9,500　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

焼き杉板の町並み景観を活用したまちづくりを推進するために、人の目にふれる機会の多い観光トイレの外壁材に焼き杉板を張り付け、焼き杉板を身近なものとして感じていただくとともに、竹野に住み続けてきたことに誇りを持って、地域の賑わいを復活させる活動を促進する。

また、洋式トイレの設置及び照明のＬＥＤ化、電気体感センサー設置、便器の自動洗浄化等の改修を行うことにより、観光トイレの快適性を向上させ、観光客などの利用者の満足度を高め、竹野のイメージアップを図る。

2　29 年度予算

⑴　**予算額**　9,500 千円

⑵　**事業内容**

①　竹野浜第２公衆トイレ（馬場町）改修
- 外壁の焼き杉板張り
- 洋式トイレ設置
  （女子トイレ　１基）
- 電気体感センサー設置
- 小便器の自動洗浄化（節水型）
- 照明のＬＥＤ化
- 間仕切りの改修
- 手洗い場をワンプッシュ手洗いに改修
- 扉の修繕

竹野浜第２公衆トイレ（馬場町）

②竹野浜第３公衆トイレ（観光協会前）改修
- 外壁の焼き杉板張り
- 洋式トイレ設置
  （男子トイレ１基、女子トイレ３基）
- 電気体感センサー設置
- 小便器の自動洗浄化（節水型）
- 照明のＬＥＤ化
- 間仕切りの改修
- 手洗い場をワンプッシュ手洗いに改修

竹野浜第３公衆トイレ（観光協会前）

担当課名【竹野振興局地域振興課】（内線 5212）

施策体系番号　3-1-2-2

No.67　事業名　日高振興局の取組み	29 年度 予算額	13,584　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、空き民宿等の活用、神鍋溶岩流を活用した地域振興、地域の食材を使用した競技者への食事提供による合宿の誘致、先輩に学ぶ授業等の振興局プロジェクト、観光事業等により雇用の創出、移住・定住の促進を図る。

2　29 年度予算

⑴　予算額　　13,584 千円

⑵　事業内容

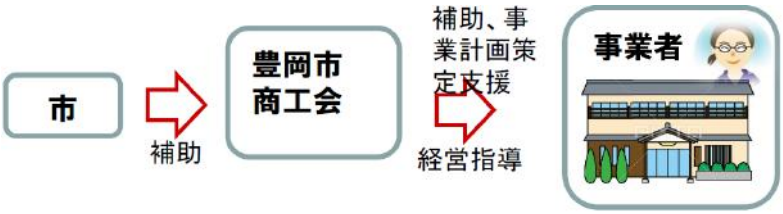
①　日高振興局プロジェクト事業

ア　空き民宿等活用整備事業（3,000千円）

神鍋地域の空き民宿等を宿泊施設や飲食店等に活用する事業者に対して、店舗改修費の一部を助成する。（継続）

助 成 額：上限 1,000 千円（対象経費の 1/2 以内）

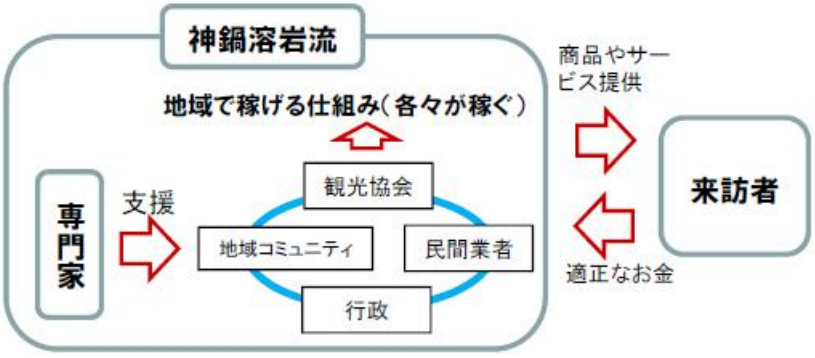
事業主体：豊岡市・豊岡市商工会



イ　神鍋溶岩流活用地域振興事業（120 千円）

神鍋溶岩流を使った商品開発・サービス提供等について、専門家を交え検討する。（新規）

事業主体：豊岡市



ウ　神鍋アスリート食「ハートフル食」推進事業（1,000 千円）

競技者のためのアスリート食「ハートフル食」の認定件数を増やす講習会等への支援、合宿誘致等のＰＲ活動について支援する。（継続）

助 成 額：上限 1,000 千円（対象経費の 1/2 以内）

事業主体：神鍋ハートフル食プロジェクト実行委員会（事務局：日高神鍋観光協会）

神鍋マラソン「ハートフル食（疲労回復バーガー、ミルクプリン）」

神戸の飲食店でハートフル食をＰＲ

エ　日高地域の先輩に学ぶ授業（80千円）

日高地域などで仕事などに活躍している若手が講師となって、中学生（日高東・西中学校）に対して生き方や考え方を伝える授業を実施する。（継続）

事業主体：豊岡市

②　観光事業費　　1,000 千円

日高夏まつり事業

助 成 額：上限 1,000 千円（対象経費の 1/2 以内）

事業主体：日高夏まつり実行委員会

③　神鍋温泉ゆとろぎ管理費　　310 千円

男子サウナ木製ベンチ土台修繕

④　湯の原温泉オートキャンプ場管理費　　4,700 千円

コテージ修繕、管理棟及びサニタリー棟トイレ修繕

⑤　神鍋高原キャンプ場管理費　　324 千円

広葉樹植栽

⑥　日高観光施設管理費　　550 千円

「八反の滝」駐車場整備

⑦　Ｗｅぷらざ管理費　　2,500 千円

東西連絡通路雨漏り修繕、駅前街路灯ＬＥＤ電球取替等

担当課名【日高振興局 地域振興課】（内線 5405）

施策体系番号 6-1-1-4、3-1-6-2、3-1-2-1、3-1-2-3、3-1-2-2、3-2-4-1

№68　事業名　出石振興局の取組み	29年度予算額	7,522　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

出石地域では、出石の伝統産業である出石焼を国内及び訪日外国人に広く宣伝し、出石焼の販売促進と職人の雇用促進を図り、出石焼の継承につなげる。

また、近年急増している空き家の所有者、賃貸や売却意向の有無等を調査し、住居や店舗等への利活用を促すことにより、国に選定された豊岡市出石の重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の町並みを守り、地域の活性化を図る。

加えて、観光・健康増進の拠点施設である出石温泉館乙女の湯の改修を行い、地域の振興や市民の利便性を向上させ、安全で良好な利用環境を図る。

2　29年度予算

⑴　予算額　7,522千円

⑵　事業内容

①　出石振興局プロジェクト事業

ア　出石焼宣伝活動事業

事業内容：　東京・青山スクエアーで年間を通して常設展示を行う。また同施設の「匠コーナー」において実演販売を行う。

事 業 費：700千円（補助率2/3）

事業主体：出石焼陶友会

イ　移住定住者向け住宅店舗促進事業（振興局プロジェクト）

事業内容：　出石市街地の空き家の所有者・関係者及び賃貸や売却金額の意向調査、空き家家屋の図面作成等を行い、豊岡市ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」への掲載や、利活用者へ円滑に情報を提供する。

事 業 費：1,550千円（補助率10/10）

事業主体：NPO法人いずし町家再生プロジェクトA

②　出石温泉館乙女の湯改修事業

事業内容：温泉設備漏水、靴箱修繕 等

事 業 費：5,272千円

事業主体：豊岡市

担当課名【出石振興局　地域振興課】（内線5604）

施策体系番号　6-1-1-5

№69　事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業	29年度予算額	63,138　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

出石重要伝統的建造物群保存地区の歴史的な町並みを保存し、地域アイデンティティの一層の向上を図る。また、出石城下町の地域的魅力を向上させることにより、観光客の増加、地域経済の活性化に資する。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

国県の技術指導､経済支援を受けて伝統的建造物の修理に助成する事業などにより、地区景観を保存する。建築物の外観変更行為に対し、指導、許可を行う。

平成29年度は重伝建選定から10年の節目を迎えるため、「選定10周年記念事業」として、記念シンポジウムや辰鼓楼の修理現場見学会等を実施予定。

⑵　**事業期間**　　平成20年4月1日～

⑶　**事業主体**　　豊岡市（修理・修景事業の事業主体は各所有者）

⑷　**全体事業費**　　未定

①　伝統的建造物群基盤強化事業（間接事業）国1/2、県1/4、市1/4負担
　　【修理：対象経費の80%、上限8,000千円、修景：同60%、上限6,000千円】

②　伝統的建造物群地域活性化事業（直接事業）国1/2、市1/2負担

3　29年度予算

⑴　**予算額**　　63,138千円

⑵　**事業内容**

①　伝統的建造物群基盤強化事業【国県補助】　　25,100千円
　・伝統的建造物の修理事業（3件）　修景事業（2件）

②　伝統的建造物群地域活性化事業【国庫補助】　30,119千円
　・辰鼓楼修理工事

③　辰鼓楼石垣間詰補修工事【市単事業】　　5,079千円

④　委託業務　　1,404千円
　・国庫補助申請修理物件事前調査業務（H30申請物件の詳細調査、基本設計）
　・追加伝統的建造物図面カルテ作成業務（追加物件の調査、カルテ作成）

⑤　事務費等（選定10周年記念事業経費含む）　　1,436千円

4　その他参考事項（事業内容の詳細等）

⑴　**伝統的建造物件数**：建築物250棟、工作物24件、環境物件11件（H29.2.1現在）

⑵　**補助金交付実績**：平成20～28年度までの事業件数　45件（修理43件、修景2件）

担当課名【出石振興局　地域振興課】（内線5607）

施策体系番号　3-2-5-3

№70　事業名　但東振興局の取組み	29年度予算額	7,562　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

但東地域では、豊岡市の中でも特に厳しい人口減少が続いており、今後更に人口減少が加速すると予測されている。

但東振興局プロジェクト事業として但東婚活応援隊による未婚者の情報収集を行い、婚活活動を促すとともに、婚活イベントを委託事業として実施し、未婚者の成婚を推進する。さらに、但東地域に若い人の移住を促進するため、若い家族に住居を賃貸し、住む場所を提供するとともに、交流人口拡大のため、教育民泊の推進を図る。

また、たんたん温泉活性化プロジェクトを引き続き推進する。

2　29年度予算

⑴　予算額　7,562千円

⑵　事業内容

①　但東振興局プロジェクト事業

ア　但東婚活応援プロジェクト事業

事業内容：但東地域未婚者情報収集及び未婚者の婚活イベント参加促進
　　但東地域婚活応援講演会の開催
事　業　費：429千円
事業主体：豊岡市

イ　但東地域婚活イベント事業

事業内容：但東地域の未婚者の若者に出会いの機会を提供するイベント開催
事　業　費：953千円
事業主体：豊岡市　委託先：しゃっても但東（但東地域若者のネットワークグループ）

ウ　移住促進住宅運営事業

事業内容：移住促進住宅の維持管理
事　業　費：382千円
事業主体：豊岡市

エ　教育民泊推進事業

事業内容:交流人口の拡大や定住人口の増加､農家の副収入の向上を図るため､教育民泊の取組みへ支援を行い、体験教育旅行を推進する。
事　業　費：4,298千円
事業主体：豊岡市、豊岡市いのちの教育推進協議会

②　たんたん温泉活性化プロジェクト事業

事業内容：経営改善への支援
事　業　費：1,500千円
事業主体：たんたん温泉管理運営組合

担当課名【但東振興局地域振興課】（内線5802）

施策体系番号 3-3-1-2

No.71　事業名	消防設備の整備 （豊岡消防署、出石分署）	29 年度 予算額	90,459　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

豊岡消防署の高規格救急自動車、出石分署の水槽付消防ポンプ自動車及び広報車を更新し、消防力を維持するとともに、市民の安全安心を確保する。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

経年劣化による老朽化が著しい豊岡消防署配備の高規格救急自動車、出石分署配備の水槽付消防ポンプ自動車及び広報車に加え、それら車両に積載する資器材を更新する。

⑵　事業期間

平成 29 年度

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費（補助率・負担率等）

90,459 千円（緊急防災減災事業債　　90,000 千円）

3　29 年度予算

⑴　予算額

（単位：千円）

	旅費	役務費	備品購入費	公課費	合計
救急車	32	101	33,000	33	33,166
ポンプ車	6	79	52,500	26	52,611
広報車	0	157	4,500	25	4,682
合計	38	337	90,000	84	90,459

⑵　事業内容

① 最新の救急資器材を積載した高規格救急自動車に更新し、救急業務の充実・強化を図る。

② 従来よりも小型化した車両に 800ℓの水槽を積載することで狭隘道路にも進入し、迅速かつ効率的な消防活動を展開する。

③ 広報車を更新し、災害活動時や訓練時における人員・資器材の搬送をはじめ広報活動など、多目的に使用する。

担当課名【警防課】（内線 3802 ）

施策体系番号　1-1-2-1

No.72　事業名	豊岡総合庁舎駐車場への地下貯留施設の整備	29年度予算額	119,947　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

豊岡市街地は低平地であり、しばしば内水による浸水被害が発生している。特に豊岡総合庁舎前の市道沿いは早期に浸水し、市民生活に大きな影響が生じている。また、防災上重要な拠点（但馬県民局、国土交通省、市役所など）が立地しており、道路冠水による水防業務への影響も大きい。昨年の7月5日の集中豪雨（38.5㎜/ｈ）においても、道路冠水で通行に支障をきたす状況であった。

そこで、県と市が共同で総合庁舎駐車場に地下貯留施設の設定を行い、並行して県が整備している県立豊岡総合高校の校庭貯留施設と併せ、確率降雨1/5（38㎜/ｈ）に対する周辺市街地の浸水被害の解消を図る。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

地下貯留施設（貯留容量：1,800 ㎥）

⑵　事業期間

平成29年度

⑶　事業主体

兵庫県・豊岡市

⑷　全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費　239,894千円（県・市50%）　市負担額119,947千円

3　29年度予算

⑴　予算額

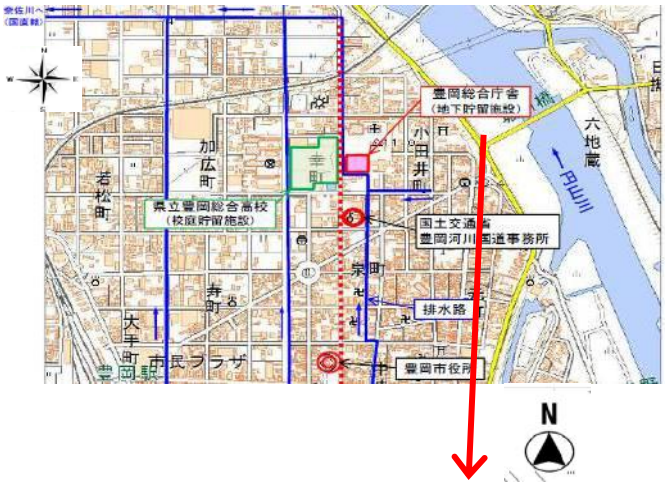
119,947千円

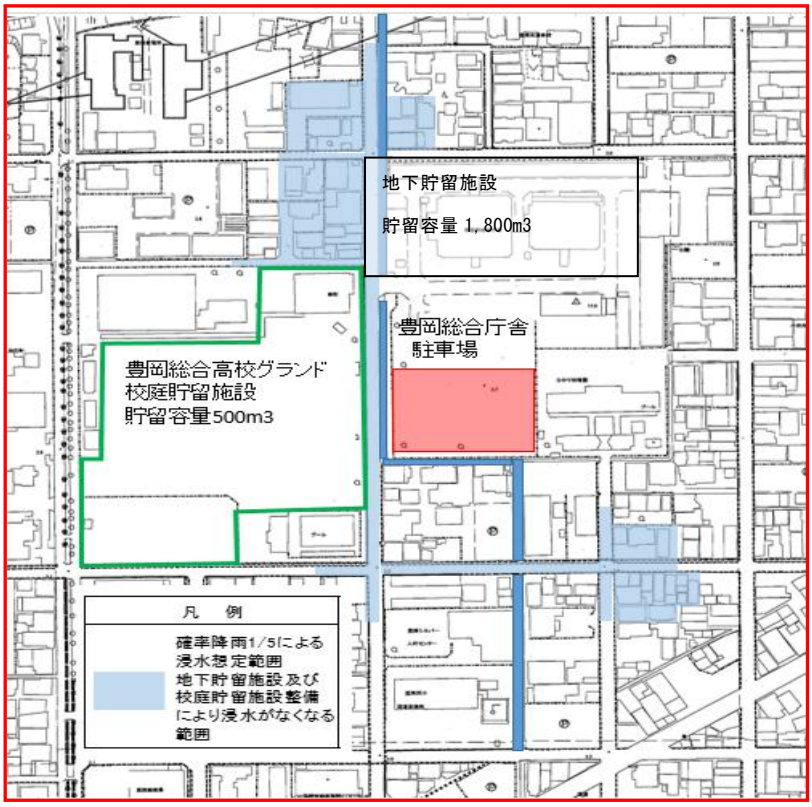
⑵　事業内容

豊岡市総合庁舎地下貯留施設設備負担金　1.0式

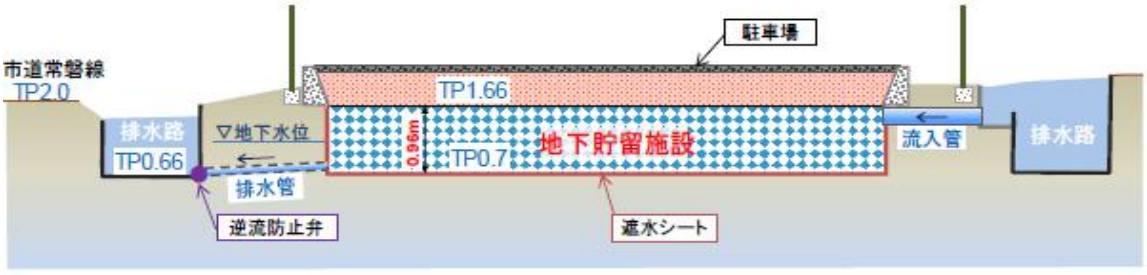
4　その他参考事項（事業内容の詳細等）

本事業は、県が制定した「総合治水条例」に基づき、「地域総合治水推進計画」の中で、「モデル地区　豊岡市街地地区」の推進事業を県と市が実施する。





地下貯留施設断面イメージ



担当課名【下水道課】（内線 3660）

施策体系番号　1-1-1-1

No.73　事業名　中学校への空調設備整備	29年度予算額	203,400　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

中学校における教育環境の質的向上と、夏季の暑さ対策のため、既に普通教室等に空調設備のある但東中学校を除く8中学校に対して、普通教室等へ空調設備設置工事を行い、平成30年夏からの一斉稼動を目指す。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

平成28年度の実施設計に続き、平成29年度から空調設備設置工事を行う。

①対象校

豊岡南中学校、豊岡北中学校、港中学校、城崎中学校、竹野中学校、日高東中学校、日高西中学校、出石中学校　計8校

②対象教室　（　）内は教室数

普通教室（62）、少人数教室（20）、特別支援教室（14）、特別教室〔理科室、音楽室、美術室〕（32）　計128教室

⑵　事業期間

平成28年度～平成30年度

一部工事については、債務負担による２ヵ年度にわたる施工を計画

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費

370,820千円

（実施設計費　9,720千円、施工監理費　16,000千円、工事請負費　345,100千円）

3　29年度予算

⑴　予算額

①　現 年 度　203,400千円　（施工監理費　8,600千円、工事請負費　194,800千円）

②　債務負担　157,700千円　（施工監理費　7,400千円、工事請負費　150,300千円）

⑵　事業内容

①　各対象教室へ空調設備を設置

②　対象校8校を4校程度に分けた工事施工を計画

平成29年度（予定）：豊岡南、日高東、日高西、出石

平成30年度（予定）：豊岡北、港、城崎、竹野

4　その他参考事項

⑴ 電気代節減対策

施工時での一括使用監視（電源ＯＮ、ＯＦＦ状態の確認）整備の他、別途稼動時におけるデマンド監視業務導入（業者委託）を計画

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号　4-1-3-1

No.74　事業名	学校施設屋内運動場等の非構造部材改修	29年度予算額	2,260　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

吊り天井を有しない中学校の屋内運動場及び武道場の非構造部材落下防止対策を行い、施設の安全性を高める。また、落下防止対策にあわせ照明器具のＬＥＤ化を行い、電気代節減を図る。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

①対 象 校　豊岡南中学校、豊岡北中学校、港中学校、城崎中学校、竹野中学校、日高東中学校、日高西中学校、出石中学校、但東中学校　　計9校

②対象施設　屋内運動場（全校）、武道場（竹野中、出石中）

③主な工事概要

ア　照明器具の落下防止とＬＥＤ化

イ　窓ガラスの飛散防止

ウ　バスケットゴール、その他設備等の落下防止対策

⑵　事業期間

平成29年度～平成31年度

対象校を2グループに分けた年次的整備を計画

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費

約130,000千円（実施設計費、工事請負費、施工監理費）

3　29年度予算

⑴　予算額

実施設計費　2,260千円

⑵　事業内容

実施設計　対象校５校

豊岡南中学校、豊岡北中学校、城崎中学校、日高東中学校、日高西中学校

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号　4-1-3-1

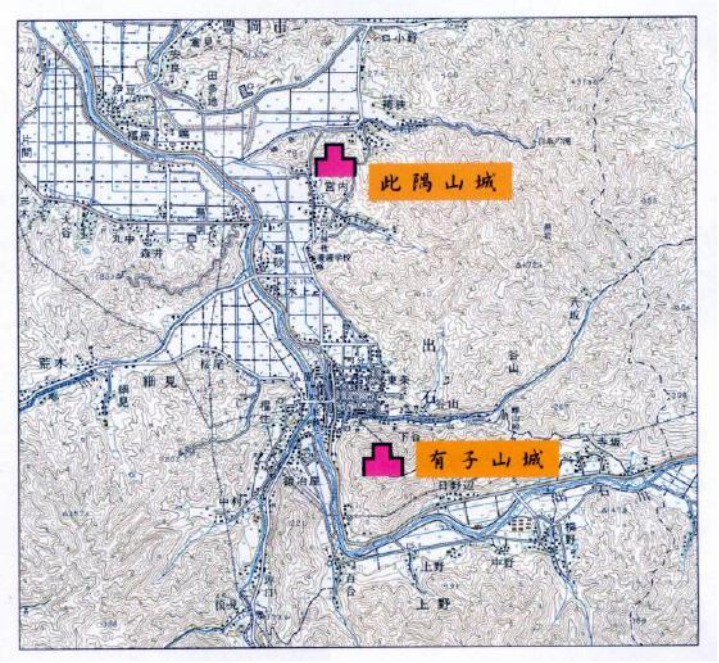
No.75　事業名　山名氏城跡整備	29年度予算額	11,293　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

山名氏城跡（有子山城跡・此隅山城跡）は、室町時代の有力大名であり、但馬地域を治めていた山名氏の居城である。我が国の中世の政治史と城郭史を示す貴重な遺跡として平成8年に国史跡に指定された。

平成27年に豊岡市が策定した整備基本計画（改訂版）に基づき、この史跡の保全及び見学者の安全のための整備を進める。

2　全体の事業内容



(1)　内　　容

保存管理のための遺構の調査
崩落個所等の補修
見学者の安全のための整備
雑木の伐採
管理道、見学路等の維持管理
ガイダンス施設の整備

(2)　事業期間

平成27年度～平成41年度

(3)　事業主体

豊岡市

(4)　全体事業費（補助率・負担率等）

82,500千円（国庫50%、県費25%、市25%）

3　29年度予算

(1)　予算額

11,293千円

(2)　事業内容

有子山城跡第5曲輪石垣下崩落個所の補修
有子山城跡・此隅山城跡見学路等の補修

4　その他参考事項

山名氏城跡整備基本計画（改訂版）　H27.7策定

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号　5-1-2-2

No.76　事業名　但馬国分寺跡整備	29年度予算額	107,742　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

史跡但馬国分寺跡周辺地域は、奈良・平安時代に但馬国府や国分尼寺などが置かれ、但馬地域の政治・経済・文化の中心地であったことから、その歴史的価値が高く評価され、国史跡の指定がなされている。

この貴重な文化遺産を国民共有の財産として保存し､教育的活用や文化的環境創造(郷土愛を深める場）の活用に供する。

2　全体の事業内容

⑴ 内　　容

史跡保存にかかる指定地の買上げ
及び保存整備

⑵ 事業期間

平成２年度～
(史跡整備は平成 27 年度～平成 42 年度)

⑶ 事業主体

豊岡市

⑷ 合計事業費（買上げ事業と史跡整備事業）

1,205 百万円(平成 29 年度までの額)
＜補助率＞
史跡買上げ（国庫 80%　県費 20%の 1/3　市 20%の 2/3)

3　29 年度予算

⑴　予算額

107,742 千円

⑵　事業内容

史跡整備委員会の開催
公有財産購入・・・11 筆(1,116 ㎡)
物件移転補償・・・専用住宅、共同住宅、車庫、立木、一式
但馬国分寺跡発掘調査にかかる現地指導

4　その他参考事項

但馬国分寺跡保存管理計画・整備基本計画（平成 24 年３月策定）
但馬国分寺跡整備基本設計（平成 27 年３月策定）

担当課名【教育総務課文化財室】（内線 5421）

施策体系番号　5-1-2-2

No.77　事業名　歴史博物館管理	29年度予算額	11,400　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

市内の歴史・文化財に関する史料を収集、保存、展示活用して、ふるさと教育・文化の発展に博物館が寄与するため、市民が親しみを持ち、来館しやすい施設にする。

2　全体の事業内容

⑴ 内　　容

博物館前の道路改良工事に伴い、植栽をスリム化する外構整備と総合歴史博物館としての展示室のリニューアルに向けた基本設計業務を委託する。

⑵ 事業期間

平成28年度～平成30年度

⑶ 事業主体

豊岡市

⑷ 全体事業費（補助率・負担率等）

総事業費　31,253千円

（財政調整基金繰入金11,269千円（国道改良工事に伴う博物館用地の売却費））

3　29年度予算

⑴ 予算額

11,400千円

⑵ 事業内容

博物館整備（屋外整備工事9,900千円、展示室基本設計業務委託料1,500千円）

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号　5-1-2-2

№78　事業名	豊岡こうのとりプランの推進	29年度予算額	5,054　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

とよおか教育プランに基づき、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもの育成のため、取り組むべき教育課題に向き合い、子どもに寄り添ったきめ細やかな支援ができる体制をつくる。

2　全体の事業内容

⑴ 事業期間

平成21年度からはばたきプラン推進事業として小中連携教育を実施
平成29年度から名称を変更し、小中一貫教育を実施

⑵ 事業主体

豊岡市

⑶ 事業内容

① スクールカウンセラーの配置（臨床心理士の小学校派遣）
② 校種間連携推進事業（交流授業等保・幼・小・中の連携教育の充実）
③ 介助員の修学旅行引率（特別支援教育の充実）
④ 指導補助教員の校外学習への参加（社会見学等児童引率のための旅費）
⑤ 中学校生徒会リーダー研修会（リーダーの養成）
⑥ （新規）多文化共生サポーターの派遣

3　29年度予算

⑴ 予算額

5,054千円

4　その他参考事項

・（新規）多文化共生サポーターの派遣
　日本語指導が必要な外国人児童生徒の学習機会の充実を支援するため、多文化共生サポーター（通訳）の派遣を実施　　321千円
　※県の事業縮小を補うもの
　（6か月まで週3回、以降18か月まで週1回　⇒　6か月まで週3回、以降12か月まで週1回）
・小中一貫教育の３本の柱となるふるさと教育【地方創生事業再掲：A0401】、英語教育【同：A0403】、英語遊び保育【同：A0403】、コミュニケーション教育【同：A0403】は、それぞれの事業で予算化

担当課名【こども教育課】（内線2725）

施策体系番号 4-1-2-3

No.79　事業名	五荘第２放課後児童クラブの整備	29 年度予算額	99,393　千円	新規 拡大 継続

１　事業目的（趣旨）

保護者の就労等により、放課後等の家庭において保護者の保護が受けられない児童（幼稚園児、小学生）に適切な遊び・生活の場を提供して、その健全育成を図ることにより、地域で安心して子育てできる環境をつくるため、全小学校区において放課後児童クラブを設置運営している。

五荘第２放課後児童クラブの開設場所である旧五荘公民館施設は老朽化が進んでおり、建物を維持するには全面的な改修が必要となっている。小学校等に空き教室等開設できる適所がないため、当該施設を放課後児童クラブ専用施設として建替える。

２　全体の事業内容

⑴　内　　容

旧五荘公民館施設を取り壊し、五荘第 2 放課後児童クラブの専用施設を整備する。
平成 28 年度に実施設計、平成 29 年度に整備工事を実施する。

旧五荘公民館（豊岡市中陰）

⑵　事業期間

平成 28 年度～平成 29 年度

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費（補助率・負担率等）

103,893 千円
（国補助率　基準額の 1/3、県補助率　基準額の 1/3）
内訳）平成 28 年度　設計業務　4,500 千円
平成 29 年度　現施設解体撤去及び放課後児童クラブ整備　99,393 千円

３　29 年度予算

⑴　予算額

99,393 千円（国補助率　基準額の 1/3、県補助率　基準額の 1/3）
内訳）監理業務委託料　4,700 千円
工事請負費　94,000 千円
建築確認審査手数料等　93 千円
備品購入費　600 千円

⑵　事業内容

旧五荘公民館施設を取り壊し、五荘第 2 放課後児童クラブの専用施設を整備する。
【専用施設の概要】木造平屋建て　延べ面積 230 ㎡

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号　4-1-1-4

№80　事業名　認定こども園整備	29年度予算額	203,148　千円	新規 拡大 継続

1　事業目的（趣旨）

「豊岡市における幼稚園・保育所のあり方計画」（平成21年10月策定）に基づき、認定こども園を導入することにより、より良い就学前の教育・保育を推進することを目的とする。

2　全体の事業内容

⑴　内　　容

①　「公立小坂幼稚園」「公立小野幼稚園」「私立小坂保育園」を統合再編し、『私立認定こども園』(幼保連携型)を設置する。（平成30年４月開園予定）

②　新しい『私立認定こども園』の設置・運営は、「私立小坂保育園」を設置・運営する社会福祉法人愛育会が行う。

③　当該社会福祉法人が、「私立小坂保育園」の既存園舎を活用し、『私立認定こども園』に移行するための改修整備に対して、補助金を交付する。

⑵　事業期間

平成29年度

⑶　事業主体

豊岡市

⑷　全体事業費（補助率・負担率等）

豊岡市私立認定こども園施設整備費補助金　203,148千円

財源内訳）国庫支出金	認定こども園整備交付金	基準額の1/2	11,781千円
	保育所等整備交付金	基準額の2/3	23,322千円
地方債	合併特例債		159,600千円
一般財源			8,445千円

3　29年度予算

⑴　予算額

豊岡市私立認定こども園施設整備費補助金　203,148千円

⑵　事業内容

幼保連携型私立認定こども園の認可を得るための主な施設整備内容

・増築園舎新築工事　　保育室、遊戯室等を増築する。

・既存園舎改修工事　　調理室等を改修する。

担当課名【こども育成課】（内線2531）

施策体系番号　4-1-1-5

No.81　事業名　農業委員会の体制変更	29 年度予算額	23,714　千円	新規 拡大 継続

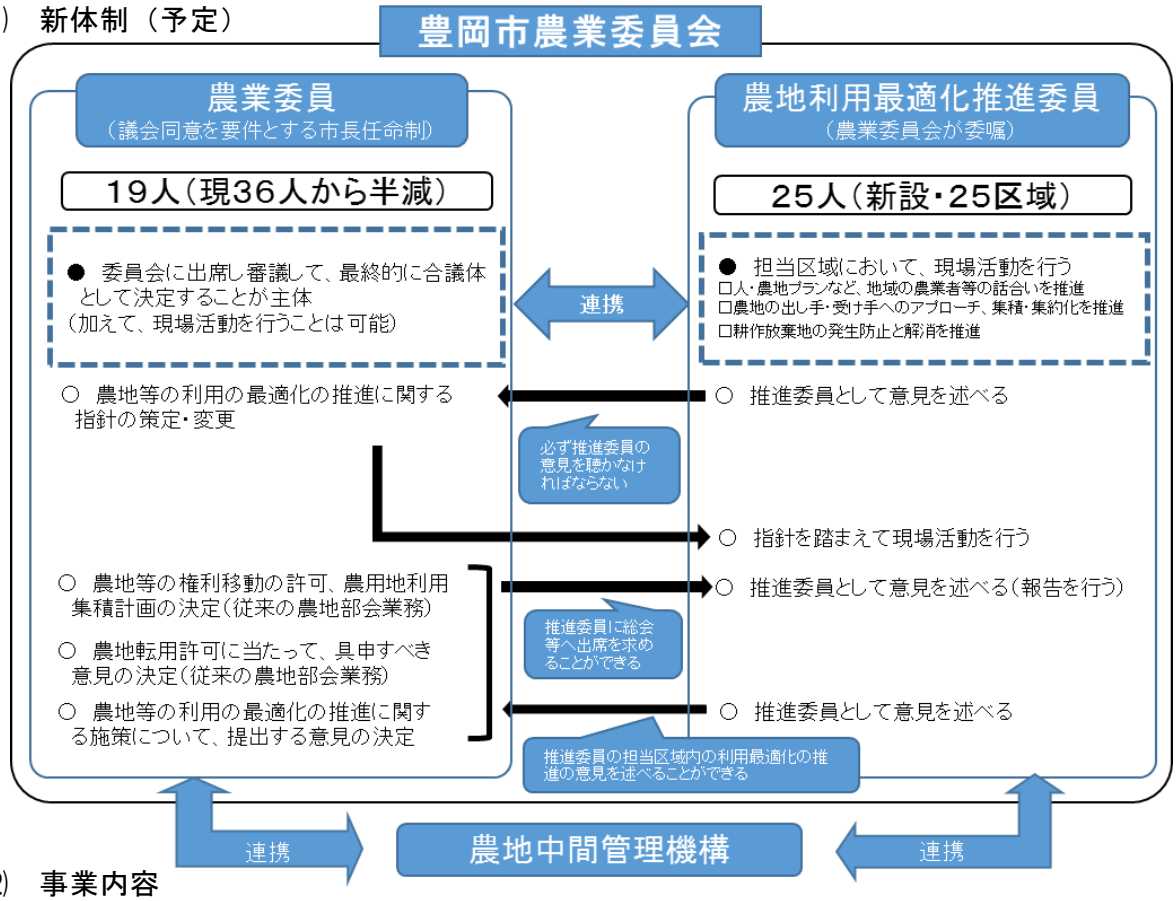
1　事業目的（趣旨）

農業委員会に関する法律の改正に伴い、担い手への農地の集積・集約化や遊休農地の発生防止・解消など、農地の利用の最適化が重要な事務と位置付けられ、農業委員会の体制が大きく変わる。

本市では、4 月 21 日から農業委員及び新設された農地利用最適化推進委員による新体制により、これまでの農地法等に基づく農地移動等の許可や転用に対する意見具申などと共に農地利用最適化の推進を行う。

2　全体の事業内容

⑴　新体制（予定）



⑵　事業内容

①農業委員会の開催
②農地パトロール
③遊休農地の所有者に対する利用意向調査及び農地利用関係の調整
④研修等による情報収集・課題調査
⑤広報「農業委員会だより」等による情報発信等

⑶　29 年度予算額

23,714 千円

担当課名【農業委員会事務局】（内線 2815）

施策体系番号　3-1-3-3